



野外博物館 北海道開拓の村 学校利用ガイド

保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校

一般財団法人北海道歴史文化財団

もくじ

1	もくじ	．．．．	1
2	来館・見学までの流れ (下見・予約・体験メニュー希望の場合 など)	．．．．	2
3	当日お越しになりましたら (受付・開拓の村からのお願い・具合が悪くなったり怪我をした場合・北海道博物館と併せて見学する場合)	．．．．	3
4	利用メニュー【体験プログラム】	．．．．	5
	予約不要【対象：全年代・学校】		
	A 開拓の村の施設見学	．．．．	5
	【対象：小学校、中学校、高等学校、大学・専門学校】		
	B 開拓の村で学ぶ SDG s	．．．．	6
	C 昭和の部屋のくらし体験	．．．．	6
	要予約【対象：幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、大学等】		
	D 学習貸出キット「学びつ（まなびつ）」	．．．．	7
	【対象：幼稚園・保育園】		
	E 手フット印刷機で印刷した記念はがきのプレゼント	．．．．	8
	【対象：幼稚園・保育園、小学校、中学校】		
	F 製作体験 遊具づくり	．．．．	8
	【対象：小学校、中学校】		
	G 昔のくらし体験	．．．．	9
	【対象：小学校、中学校、高等学校、大学・専門学校】		
	H オリエンテーション、I 製作体験わら細工、J 講義	．．．．	10
	K 質問対応、L 昔の授業体験（北鳴教室）	．．．．	11
	M 出前歴史学習（出前授業）、N オンライン授業	．．．．	12
	【対象：中学校、高等学校、大学・専門学校】		
	O 村内ガイドツアー、P 職場体験（インターンシップ）	．．．．	13
	【対象：大学・専門学校】		
	Q 博物館実習	．．．．	14
4	開拓の村の学習素材等について	．．．．	14
5	北海道開拓の村 施設概要・営業案内 (開拓の村の施設概要・施設案内図・料金・開館時間・休館日・お問合わせ)	．．．．	15

来館・見学までの流れ

遠足、現地学習や社会見学、修学旅行などで、北海道開拓の村を利用する場合は、事前にご予約ください。

■ご予約・ご連絡方法：お電話で承ります 北海道開拓の村 Tel 0 1 1 - 8 9 8 - 2 6 9 2

※お電話での受付時間 9 時～17 時（休館日は対応していません）

①下見

先生・教諭、旅行会社の下見の予定がありましたら、お電話にて次の事項をお伝えください。

入場料は免除（無料）となります。

①学校名 ②当日下見に来られる方の名前 ③連絡先

②見学決定・予約

A 北海道開拓の村の見学が決まりましたら、お電話にて次の事項をお伝えください。

①見学日 ②時間帯 ③園・学校名 ④園児・児童生徒数 ⑤引率教諭数 ⑥連絡先と担当者

⑦村内で昼食をとる場合の有無（有りの場合は B をご確認ください）

⑧体験プログラムの希望の有無（有りの場合は C をご確認ください）

B 北海道開拓の村で食事をする場合

①お弁当持参

⇒ 村内の芝生で自由にお使いください。

（場所の予約、建造物内での飲食はできません。ゴミの持ち帰りにご協力お願いします。）

※雨天時は、他の学校様と共有して屋内休憩施設を使用させていただきます。

当日、受付（入場券売場）で時間帯・使用場所をお伝えします。

②開拓の村食堂をご利用する場合

⇒ 200 席の食堂があります。他の一般団体の予約もありますので、必ず事前に【開拓の村食堂 Tel011-897-2321】にご予約下さい。

価格やメニューなどの相談に応じます。またお弁当の手配も承ります。

※現在、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため定員を削減し、100 席程度となっています。

C 体験プログラムを希望する場合

3 ページ以降に記載しているプログラムをお選びの上、お問い合わせください（他の利用・対応等がある場合は対応できない場合があります。（見学日の決定の前に、事前にご相談・調整いただけると、対応は確実です。）

なお出前授業を希望する場合は、教材の準備、スタッフの調整などが必要ですので、1 か月前までにご相談・ご予約下さい。

当日お越しになりましたら・・・

■受付

①学校名、人数をお伝えください。開拓の村リーフレットを人数分お渡しします。

また、【見学に際してのお願い】をお渡ししますので、生徒皆様に周知をお願いします。

②見学のみの場合は、受付後、ご入場ください。

※現在、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、入退場は、管理用ゲートからとなります。受付後、ご案内いたします。

③村内で昼食をとられる場合

1) お弁当持参

村内の芝生で自由にお使いください。

※荷物の預かりは対応していませんので、学校で管理してください。

※雨天等の場合：他の学校様と共有して屋内休憩施設を使用させていただきます。

当日、受付（入場券売場）で時間帯・使用場所をお伝えします。

※ごみのお持ち帰りにご協力をお願いします

2) 開拓の村食堂をご予約されている場合

ご予約時間になりましたら、開拓の村食堂へ移動してください。

※集合時間等、必要に応じて村内放送の対応が可能です。受付（入場券売場）に申し出ください。

④体験プログラムをご予約の方

入場受付時に、対応時間・場所をお伝えします。時間になりましたら実施場所へお越しください。

■北海道開拓の村をご利用にあたって（お願い）

北海道開拓の村の建造物は、北海道にとって、とても大切な財産です、見学をされます皆様のご協力により、後世の人々に長く伝えたいと思いますので、ご協力をお願いします。

- ・馬車鉄道、馬そりの馬に触ったり、一緒に走ったりしないでください。また餌を与えないでください。
- ・線路に石を置かないでください。また線路内を歩かないでください。
- ・入退村は全員そろって行い、旧札幌停車場へは途中で出入りしないでください。（止むを得ない場合は除く）
- ・お手洗いや、水飲み場は村内数カ所にあります。
- ・建造物内外の資料や、展示物には手を触れないでください。
- ・建造物内では飲食をしないでください（札幌停車場、ビジターセンター除く）
- ・立ち入り禁止の場所、また海、池には入らないでください。
- ・体験学習棟、子どもの広場の遊具は、使った後は必ず元の場所に片づけてください。
- ・村内での、ボール・フリスビー・ローラーブレード等の遊びは禁止されています。
- ・虫や花など動植物の採取はできません。
- ・ゴミはくずかごに入れるか持ち帰ってください。
- ・記録・広報用等の為、個人が特定されない範囲で撮影し使用する場合がありますので予めご了承ください。

■見学中、具合が悪くなったり、怪我をした場合

旧札幌停車場（出入口）の入場券売場までお伝えいただくか、馬車鉄道係員、体験学習棟のスタッフに声をかけてください。

また緊急を要する場合は、北海道開拓の村事務所（TEL011-898-2692）までご連絡ください。

- ・AED：旧札幌停車場、体験学習棟に、1基ずつ設置しています。
- ・救急セット：旧札幌停車場、体験学習棟にご用意しています。
- ・救護室：具合が悪くなった生徒さんを休ませる場合、入場券売場職員に声をかけてください。

旧札幌停車場内にある救護室をご案内します。

・最寄りの救急病院

総合病院 … J C H O札幌北辰病院（TEL011-893-3000 厚別区厚別中央2条6丁目2-1）

脳神経外科…新さっぽろ脳神経外科病院（TEL011-891-2500 厚別区厚別中央1条6丁目2-10）

整形外科 …新札幌整形外科病院（TEL011-893-1161 厚別区厚別中央1条6丁目2-8）

羊ヶ丘病院（TEL011-351-2211 厚別区青葉町3丁目1-10）

循環器専門…新札幌循環器病院（TEL011-892-1556 厚別区厚別中央2条4丁目9-25）

- ・救急車の手配：スズメバチに刺されたり、緊急を要する容体の場合は、救急車を手配します。

※北海道開拓の村の全スタッフは、救命講習を受講しています。

■北海道博物館と併せてご見学する場合

北海道開拓の村に隣接（徒歩約15分 車移動約3分）する北海道博物館もご見学する場合は、別途、北海道博物館に予約（見学届）が必要となります。

北海道博物館の利用については【北海道博物館学校利用ガイド（北海道博物館ウェブサイト <https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp>）】をご覧ください。



利用メニュー【予約不要 体験プログラム】

【対象：全年代・学校】

A 北海道開拓の村の施設見学（自由見学）

〔所要時間：約60分～180分程度〕

〔対応人数：不特定多数〕

〔プログラム例：課題別見学モデルコース〕

北海道開拓の村は、施設内の展示建造物を自由に回ることのできる自由導線となっています。すべての展示を見学（パネル等の通読も含む）すると1日では見切れない規模となりますので、学習目的に合わせて見学内容をご設定ください。

見学・プログラム作成に際して、質問やご相談がありましたら、お気軽にご連絡ください。

また、開拓の村ホームページでは、モデルコースやワークシート、ガイドブック、どうぐじてんなどの様々なコンテンツを公開していますので、ぜひご活用ください。

●北海道開拓の村

ホームページ

<https://www.kaitaku.or.jp/>



●学校のがくしゅう

ページ（ワークシート、どうぐじてん、先生向けページなど）

https://www.kaitaku.or.jp/school_learning/



●ご利用案内

見学順路図などのページ

<https://www.kaitaku.or.jp/userguide/>



【対象：小学校、中学校、高等学校、大学・専門学校】

B 北海道開拓の村で学ぶSDGs

SDGsのターゲットやゴールの多くは、多くの内容が北海道開拓を進めようとした際の課題・視点と一致します。現代の北海道を、先人が選択した解答が創りあげた姿と捉え、開拓の村の展示や活動からSDGs達成へのヒントを探してみましょう。（※SDGs学習は北海道開拓の村の見学だけで収束することは困難です。是非、事前事後の学習活動をご計画ください）

学習プログラムの作成にあたりご相談・対応を承りますので、その際は、下記の課題より希望の内容を選択しご連絡ください。

〔所要時間：90分～240分程度〕

〔プログラム（課題）例〕

4 質の高い教育をみんなに



・・・開拓地なのに・・・
開拓地だからこそ・・・
人々は教育に何を期待したのか考えましょう。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



・・・北海道を代表する産業は、
どのように始まり発展したのか。
道具や機械の変化にも注目しましょう。

11 住み続けられるまちづくりを



・・・開拓の村の展示建造物と現代くらしを比較して、
住みよいまちづくりについて考えましょう。

C 昭和の部屋のくらし体験

旧札幌停車場内に、ちゃぶ台、火鉢、ラジオなど昭和時代のくらしを再現した部屋を用意しています。北海道開拓の村の見学と併せて利用すると、開拓期・昭和期・今の時代と3つの時代のくらしを比較することができます。

〔所要時間：10分～40分程度〕

※会場は、休憩所を兼ねた場所にあり、一般来場者もご利用しますので譲り合いながらご活用ください。

利用メニュー【要予約 体験プログラム】

【対象：幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・大学・養護学校・高齢者福祉施設等】

D 学習用貸出キット『学びつ（まなびつ）』

【G 昔のくらし体験】でご案内している「つば釜・羽釜」、「洗濯板」、「深くつ・雪下駄」、「わら細工」などの昔の道具などを無料で貸出しています。道具から知る人々のくらしと工夫についての理解を深めることができます。

〔学習用貸出キット〕

- | | | | | |
|---------|-------|-------------|------|-------|
| ①つば釜／羽釜 | ②雪下駄 | ③ストーブ（薪・石炭） | ④洗濯板 | ⑤わら細工 |
| ⑥石臼 | ⑦竿ばかり | ⑧湯たんぽ | ⑨角巻 | |

〔貸出期間〕

原則として2週間以内（往復の輸送期間を含む）

※特別の事情がある場合は、別途相談の上、調整させていただきます。

〔利用方法〕

- 1) 北海道開拓の村ホームページ「学校のがくしゅう」ページで公開している【貸し出しキット『学びつ』】の資料をご覧ください。
- 2) 希望する資料の貸出可否について、必ずお電話でご確認ください。
- 3) 打合せの上、貸出資料・貸出日が決まりましたら、所定の借用申請書に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 4) 貸出日に北海道開拓の村までお越しください。
※お車で来られる際は、身障者・業務用駐車場をご利用ください。
- 5) ご利用いただいた後は、キットと使用報告書を添付して、決められた期日までにご返却ください。

〔料 金〕

貸し出しに伴う料金は、無料に対応しています。

※学習用貸出キットを郵送で貸出・返却希望される場合は、送料をご負担いただきます。

〔そ の 他〕

北海道開拓の村ホームページ「学校のがくしゅう」 (https://www.kaitaku.or.jp/school_learning/)
では、授業や見学時に使用できるワークシートなども公開しておりますので
ご活用ください。



【対象：幼稚園・保育園】

E 手フット印刷機で印刷した記念はがきのプレゼント

事前にご予約いただいた幼稚園・保育園のご見学に合わせ、手フット印刷機で印刷した来村日入り記念はがきをお渡しします。

【対応人数：全園児（入場者全員）】

【申込：見学の2週間前まで】

※施設見学ご予約時に希望の有無をお知らせください。

※幼稚園・保育園の遠足などにご利用いただく場合に限りです。

【対象：幼稚園・保育園、小学校、中学校】

F 製作体験 遊具づくり

身近な材料による遊具づくりを体験し、先人たちの生活を学びます。

（小刀・はさみなどの刃物を使用するものがあり、1団体1種のプログラムとなります）

【所要時間：30～90分程度】

【対応人数：1回最大30名程度】

※大人数の場合は入れ替えにより対応します。（入れ替え時間10分程度）

【申込：見学の2週間前まで】

【プログラムと使用する主な道具】

①紙とんぼ・・・えんぴつ、はさみ、きり、ボンド

②ぶんぶんゴマ・・・はさみ、きり、ボンド、定規

③木のコマ・・・小刀、きり、やすり、木づち、コンパス

④竹とんぼ・・・小刀、きり、木づち

※季節・材料・会場の手配上、対応できないプログラムがあります。

使用する道具の安全性や体験者の年齢などを考慮し別プログラムをご案内する場合があります。

【対象：小学校、中学校】

G 昔のくらし体験

小学校3・4年生社会科での現地学習を想定し、実際に道具に触れる体験を通して先人たちの工夫と願いを学びます。

〔所要時間：40分程度〕

〔対応人数：クラス単位（5～40名）〕

※大人数の場合は入れ替えにより対応します（入れ替え時間10分程度）

〔申込：見学の2週間前まで〕

〔プログラム〕

- ①唐箕（とうみ）：日本各地で広く使用された農具【唐箕（とうみ）】を使用した体験。
- ②はかり：昔の重さを計る道具【竿ばかり】を使用し仕組みを学ぶ体験。
- ③石臼：きな粉やそば粉をつくる道具【石臼】を使用し仕組み・願いを学ぶ体験。
※石臼を使用する場合は、米やソバ、煎り豆など石臼で挽く穀物を用意頂く必要があります。
- ④洗濯板・たらい：【洗濯板・たらい】を使用し仕組み・願いを学ぶ体験。
- ⑤深ぐつ・雪下駄：代表的な冬の履物である【深ぐつ・雪下駄】に触れる体験。
- ⑥つば釜：【つば釜】の実物に触れることで形状の工夫や情報を読み取る体験。



【対象：小学校、中学校、高等学校、大学・専門学校】

H オリエンテーション

学習課題に合わせ概略説明を行い見学のポイントを明確にします。

実施場所は、見学当日の入場手続き時にご案内します。

〔所要時間：5～10分程度〕

〔対応人数：全校（入場者全員 最大400人）※屋内利用の場合は最大200名〕

〔申込：見学の2週間前まで〕

I 製作体験 わら細工

日本各地で伝承されているわら細工の基本【わら縄】を作る【縄ない】を体験し、先人たちの知恵と工夫、生活を学びます。

〔所要時間：50分程度〕

〔対応人数：1回最大30名程度〕

※大人数の場合は入れ替えにより対応します（入れ替え時間10分程度）

〔申込：見学の2週間前まで〕

J 講義

学校との打ち合わせをもとに、北海道開拓をテーマにした学芸員による講義を行います。希望テーマにより、講義内容が専門的になりますので、事前学習の実施をお勧めする場合があります。

対応場所は、人数により旧札幌停車場第2ホールまたはビジターセンター講堂となります。

〔所要時間：30分～2時間程度〕

〔対応人数：200名程度〕※大人数の場合は入れ替えにより対応します（入れ替え時間10分程度）

〔申込：見学の2週間前まで〕

K 質問対応

学芸員が児童生徒の質問にお答えします。数値等に関する質問は、回答に正確を期すためにも事前に学習内容や質問事項をご提供ください。 ※対応は、入場前後どちらでもできます。

[所要時間：10～30分程度]

[対応人数：全校（入場者全員）]

[申込：見学の2週間前まで]

L 昔の授業体験（北鳴教室）

昔の教科書「北海道用尋常小学読本」（明治34年発行）の複写物を使用した、授業体験です。教科書をもとに明治時代に学んでいたことや、人々の考え方、生活の様子などに触れます。

下記の課題より希望の内容を選択しご連絡ください。

[所要時間：45分～60分程度]

[対応人数：小学4年生以上より 5～200人]

※28名までであれば、旧北海中学校内の教室で実施できます

[申込：見学の2週間前まで]

[プログラム（課題）]

- ①北海道・・・北海道の概略を紹介
- ②移住者ノ話・・・老人の移住にまつわる経験談
- ③もんべつ村・・・現在の伊達市に移住した伊達邦成主従の話
- ④樹木の効用・・・樹木と生活との関係及び環境教育
- ⑤重なる金属・・・身近な金属と加工の紹介
- ⑥牧畜・・・牧畜を挿絵を用いて概説
- ⑦パンノ製造法・・・新しい食文化「パン」の製造法
- ⑧鮭・・・北海道の名産「鮭」について
- ⑨冬の日・・・造材や氷業など冬の産業の紹介
- ⑩石炭・・・石炭の産地と用途の紹介

M 出前歴史学習（出前授業）

北海道開拓の村を利用する事前・事後学習として、学校との打ち合わせをもとに、北海道開拓をテーマにした学芸員による講義を行います。学習内容により、昔の道具を使用することも可能です。

なお、出張に伴う経費は無料ですが、業務時間外となる場合はご相談ください。

〔所要時間：40分程度〕

〔対応人数：クラス単位または一学年単位〕

〔申込：希望日の2週間前まで〕

〔プログラム〕①開拓期の歴史・生活の話・・・希望テーマに沿った講義を行います。

②製作活動・・・わら縄づくりを行います。

③道具体験・・・はかり、石臼、洗濯板等を使用した昔の道具体験です。

※都合により、北海道開拓の村を見学できない場合も対応可能です。

N オンライン授業

北海道開拓に関する講義や、北海道開拓の村見学の視点設定、見学前後の質問対応などオンライン授業に協力できます。希望日時、学習内容、受講者数などの情報を用意の上ご連絡ください。

Google Meet, Zoom Meeting, Microsoft Teams など WEB 会議システムの使用を想定しておりますが、ホスト(主催)手続きは学校側でお願いします。当日の不具合回避のため、事前の接続テスト(前日までに同機器・同回線を用いて行うもの)を必須とさせていただきます。

〔所要時間：30分～90分程度〕

〔対応人数：クラス単位または一学年単位〕

〔申込：希望日の2週間前まで〕

〔進行例（50分講義の場合）〕

10分前 回線接続

0分 講師紹介

3分 講義開始

35分 質問対応

45分 まとめ

50分 接続終了

【対象：中学校、高等学校、大学・専門学校】

O 村内ガイドツアー

開拓の村ボランティアによるガイドツアーです。

学習内容のご希望に合わせて展示建造物の注目ポイントや北海道の歴史・生活文化などについて解説しながら、村内をガイドします。

〔所要時間：往路 40～90分程度 + 復路30分以上（自主見学）〕

※ガイド内容・時間についてはご相談ください

〔対応人数：5～200人 ※生徒10～20名につきガイド1名が担当します〕

〔申込：見学の2週間前まで〕

P 職場体験（インターンシップ）

職場体験（インターンシップ）は、4時間から2日間で（計8時間程度）、北海道開拓の村の多様な業務補助を体験します。

〔所要時間：1～2日間（実働4～8時間程度 昼休み含む）〕

＜一日の場合のスケジュール例 実務5時間の場合＞

9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	15:30
オリエンテーション	業務補助	休憩	業務補助	ふりかえり	

〔申込：希望日の1ヶ月前まで〕

〔プログラム〕日程が2日間の場合は、1日ごとに①・②・③を選択することが可能です。

①博物館事業コース

- 1) 行催事運営 事業準備や運営補助業務を経験することで、イベント運営の心がけや来場者サービス、北海道の生活文化を学びます。
- 2) 博物館学芸員 博物館としての存在を意識し、建造物や展示資料のクリーニングなどの作業などを行うことで、博物館専門職である学芸員の仕事の一端を体験します。

②博物館運営コース：受付案内・馬車鉄道・遊具づくり 補助

来館者の受付案内、馬車鉄道の車掌業務、遊具づくり指導の補助を行い、博物館とお客様の懸け橋となる、おもてなしを第一に心がける「サービス関係」の業種を体験します。

③博物館管理コース：施設管理（清掃・監視・修繕）、点検 補助

建造物の目視点検や修繕、簡易的な防腐剤塗布、また施設内の清掃等の業務を行い、お客様に気持ちのよい環境で見学いただけるよう、博物館では欠かせない「施設管理の業種」を体験してもらいます。

【対象：大学・専門学校】

Q 博物館実習

学芸員資格の取得を目指す大学生のための実習を行っています。様々な博物館活動を実際に経験し、学芸員としての知識・心構えを身につける契機となることを目指しています。

なお、実施時期は8月下旬～9月初旬で年度ごとに設定します。

〔所要時間：10日間程度（1日8時間程度 昼休み含む）〕

〔申込：毎年度、4月より受付〕

※実習に係る問い合わせは個人でも構いませんが、参加手続きは所属大学よりお願いします

※上記のプログラム以外の対応などがありましたらお気軽にご連絡ください。

☆開拓の村の学習素材等について

北海道開拓の村ホームページの【学校のがくしゅう】（https://www.kaitaku.or.jp/school_learning/）では、モデルコースやワークシート、どうぐじてんなどの様々なコンテンツを公開しています。

その他、開拓の村ホームページ内には、見学順路図、北海道の開拓と移民、歴史・年表、村内MAPなど、様々なコンテンツを公開していますので、開拓の村のホームページをご活用ください。

●学校のがくしゅうページ



北海道開拓の村 施設概要

北海道は長い間、先住民族であるアイヌ民族の生活の場でしたが、室町時代頃から和人が移り住むようになり、以後、豊富な水産資源と広大な土地を目当てに多くの人が移り住みました。明治2年からは、国が開拓使を設置して本格的な未開地の開拓を始めましたが、厳しい自然環境の中での開拓は決してやさしいものではありませんでした。人々は知恵と力を出しあい、また、欧米を中心とした諸外国から新しい技術を導入して北海道の開拓にあたってきたのです。明治期の北海道における建築は、日本において古くから受け継がれてきた伝統的な木造建築技術に欧米の技術が取り入れられたこ

とが一つの特徴で、北海道の各地の気候や風土に適応するための工夫が重ねられました。

北海道開拓の村は、主に明治（1868～1912）・大正（1912～1926）期の建造物を道内各地から集め、復元・再現した野外博物館です。村内では、開拓者たちが郷里の建築にならって建てた家々も多くあります。これらの建物は、様々な地域から北海道へと移り住んだ開拓の歴史を物語っているといえるでしょう。

村内は市街地群、漁村群、農村群、山村群で構成され、それぞれの建物ごとに資料を展示して、開拓時代の先人たちの意欲あふれる生産や生活の様子を目の当たりにすることができます。



北海道開拓の村 営業案内【料金等】

■料金について

- 【幼稚園・保育園】 園児、引率の先生 全員無料です。
- 【小学校】 生徒、引率の先生 全員無料です。
- 【中学校】 生徒、引率の先生 全員無料です。
- 【高校】 生徒 10 名以上の場合無料、引率の先生は生徒 10 名につき 1 名無料です。
(生徒 10 名未満の場合は有料となります)
- 【養護学校、聾・盲学校】 免除となりますが申請書の提出が必要です。
(FAX で申請書をお送りします)

■大型バス駐車場について

- ・北海道開拓の村には大型バスの駐車場があります。料金は無料となっており、予約は不要です。

■開館時間・休館日（入場は閉館 30 分前まで）

- 5 月～9 月 9：00～17：00 無休
- 10 月～4 月 9：00～16：30 休館日：毎週月曜日(祝日・振替休日の場合翌日)、
年末年始(12/29～1/3)
※さっぽろ雪まつり期間中の月曜日は開館

■お問合わせ・ご予約・ご連絡先

野外博物館北海道開拓の村

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1

TEL 011-898-2692

FAX 011-898-2694

URL <https://www.kaitaku.or.jp>

※お電話の際は開館日の 9：00～17：00 をお願いします。

野外博物館北海道開拓の村 学校利用ガイド

発行

指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1（北海道開拓の村内）

TEL011-898-2692

2023.3.18 発行